更新実践講習　グループディスカッション　提案書

タイトル

[シーターン！公園 地域との協働でつくる防災体制の構ちく]

2024年 11月 19	
班番号	
進行役	
書記係	
発表者	



公園スタッフ

- スタッフの役割決め(毎日)
  - 利用者
  - 誘導
  - パトロール　など
- 立入禁止区域明確化
- 事前対応
  - 駐車場・トイレ等の閉鎖
  - 防災備蓄の使い方マスター
  - 備品かくにん
  - 速やか手配かくにん
    - (飲食・ホイッ・アルコール等々)

公園スタッフ ∩ 地域

- ハザードマップの確認
  - (公園・公共機関・住民)
- 避難経路・場所
- 車の通り道
- 連絡先の共有
- コニバーサル理解のチェック

共に防災訓練

ボランティアの育成・参加

地域

(消防・警・自治体・住民)

- ボランティアへの協力
  - テントの立ち上げ有効活用!!



(発表者)

更新実践講習　グループディスカッション　提案書

タイトル

[広域防災拠点および広域避難場所を備えた]
県立運動公園

2024年 11月 19日	
班番号	2
進行役	
書記係	
発表者	

① ハザードマップ
一時避難場所活動場所への案内看板（色を活用したサイン）
子供でも分かりやすいマップ

② 訓練実施
地域との連携（スタッフと）、参加しやすいイベント（避難経路を使用）
スタンプラリー

③ マニュアル作成
避難活動方法や備品保管場所（期限チェック）

④ 市町村調整
防災倉庫の管理（鍵管理を指定管理者側にも）

更新実践講習　グループディスカッション　提案書

2024年11月19日

班番号	3
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[みんなが主役楽しい防災]

安全で安心 楽しい防災

利用者
- 防災イベントの参加
- 情報の入手
  SNS・HP
  ポスター等

地域住民
- 防災訓練（競技会、協議会）の参加
- 防災組織の策定

自治体
- ハザードマップの作成・共有
- 防災イベントの開催
- 情報提供

スタッフ
- 日々の点検・訓練
- ハザードマップの確認
- 情報発信

協力

協力

協力

協力

更新実践講習　グループディスカッション　提案書

2024	年 11 月 19 日
班番号	4
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[地域とつながる防災対策]

対象公園：新潟県立鳥屋野潟公園

分類：地区公園（16h）

主施設：管理所，展示場（イベントスペース），駐車場，芝生広場，お花見広場

周辺環境：潟（水湖，川の中間），主要道路（県道），ショッピングモール

被害想定：液状化，震度4で倒壊，園路ひび割れ



平時に取り組むべき対策

- 直後の対応マニュアルの作成

アイデア
- ショッピングモールとの連携
- 自治体との防災用品整備（無線，トイレ，備蓄品）
- 少ない人数での安全点検相定マニュアル作成
- 展示場に一時ひなん場をつくる装備

- 地域とのつながりを作る

アイデア
- 広場キャンプ場にしてみる
- 駐車場おとまりイベント（オートキャンプ
- アウトドアメーカーとのコラボ
- 防災ボランティアをつくる．

更新実践講習　グループディスカッション　提案書

タイトル

[公園で楽しく防災訓練！]

2024年 11月 19日	
班番号	5
進行役	
書記係	
発表者	

想定公園

- 地区公園
- 大規模ニュータウン
- 40代ファミリー層
- 備蓄倉庫・耐震性貯水槽
  マンホールトイレあり

目標

何度も来たくなる
何度も行きたくなる
色々な人が参加したくなる
→ 公園愛着up

防災教育・防災訓練の具体例

~~①~~ 年3回程度 想定

①夜バージョン ②昼バージョン
③スタッフ向け ④住民向け ⑤子供向け

- マキ作りで倒木処理
- 花火
- 火おこし訓練
- 炊き出し
- 防災ツアー　・スタンプラリー
- 星空　・ルートの設定
- 出会いマッチング
- きもだめし　・防災グッズの取扱い方

タイトル

更新実践講習　グループディスカッション　提案書

[災害は 自分事!!]

2024年 11月 19日	
班番号	6
進行役	
書記係	総
発表者	児

※課題：訓練やマニュアルはあるが、ルーティンの一部で流していないか？

↳ 解決するためには、自分事として公園スタッフが受け取める。

具体的に… 毎朝の朝礼で、出勤スタッフの具体的な役割を割り振る。
当日の心構えと具体的な動きを空き時間に確認する。

- 放送は ○○さん
- 点検は ××さん
- 誘導は △△さん
- etc.

□ハザードmap

- 点検が所の再確認
  日々することで、動線を忘れない。

□AEDの使い方・置き場所。 ★課題解決。 レベルup。

- 訓練への参加の真剣度があがる。
- 置き場所をより使いやすい場所に変更。 ★

↳ 防災掲示板（利用者共有）

□避難者対応

- 職員だけでは無理が？…
- 近隣住民との交流
  イベント等を通じて
  事前に顔が
  見える関係に。

□倒木・園地のゆがみ等。

- 公園スタッフだけでは対応が難しい場所
  内容あり…

↳ 協力業者さんとの事前確認
連絡方法や具体的な場所の共有 ★

□訓練を多様な関係者と実施

- ○発電機の使い方
  ・電力足の発見。
- ○備蓄量が適切か確認!!

更新実践講習　グループディスカッション　提案書

タイトル

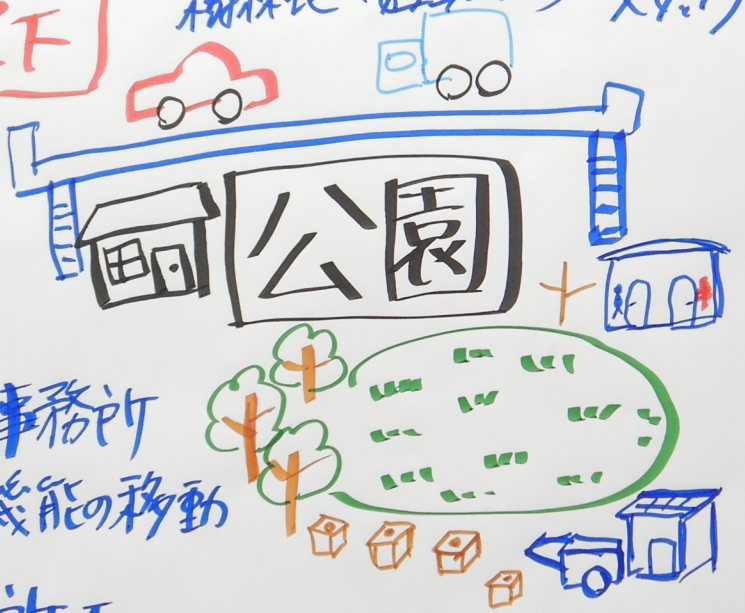
[高速道路下にある地区公園の震災時の対応]

2024年11月19日
班番号 7
進行役
書記係
発表者

A市．地区公園 例にある4ha
高速道路通っている．　事務所あり
樹林地．遊具 あり　スタッフ

この公園のリスク

- 高速道路の高架下
- 落下物．崩落
- 樹木倒木落枝
- インフラ停止



事務所
機能の移動

高架下からひなん
拡声器．旗

安全確認

災のひなん時の確認
イベント消防訓練
連絡

スタッフの安否確認

ひなん場所を
高速道路から遠くに設定
ゾーニング

植栽点検
施設点検
ハザードマップ

備蓄面
（普段からそなえるもの）

想定外は起こる。

更新実践講習　グループディスカッション　提案書

タイトル

2024 年 11 月 19 日
班番号 8
進行役
書記係
発表者

[大規模地震に備えるために公園管理者が平時に取り組むべき対策]

想定　臨海部の地区公園
一時避難所

被害
・インフラの停止
・液状化
・電車不通

被害発生　　平時の取り組み

・身の安全確保　…　ヘルメット等購入
・巡回（施設の点検　…　日常点検
　ケガ人の確認　…　救急箱点検、救護訓練
・消防への通報
・自治体への報告
・避難誘導
　} ~~通報~~ 避難訓練の実施
　（貯水槽、防災無線、衛星電話の練習、マンホールトイレ、防災ベンチ）
・防災備品の取り出し　…　在庫の確認、
　（飲料水（スタッフ分）、防災ベンダー設置）
（・夜間対応、照明など）
・正式な避難所への誘導　…　避難路の掲示、外国語対応、

特に津波時　…　近隣関係者との連携
信頼関係を築く!!

経過

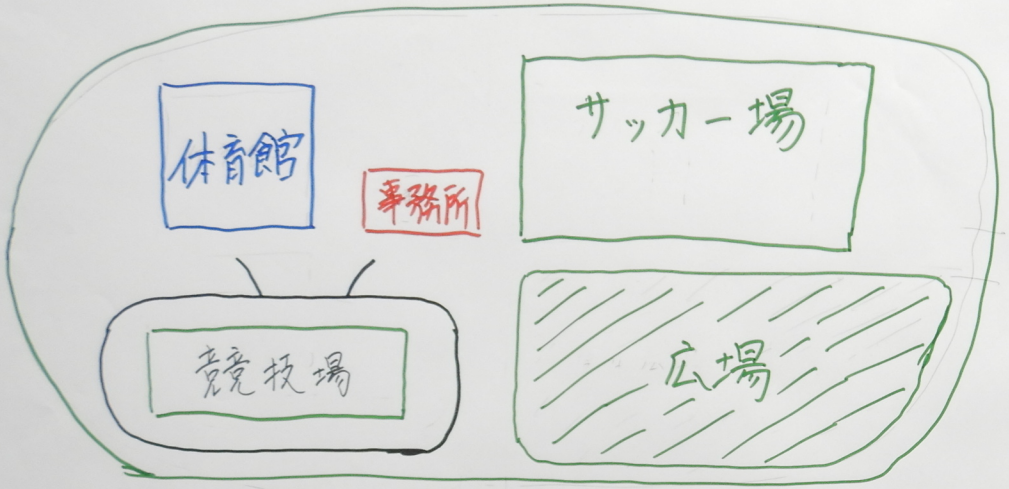
更新実践講習　グループディスカッション　提案書

タイトル

[伝われ～！大規模運動公園の情報伝達]

2024年11月19日

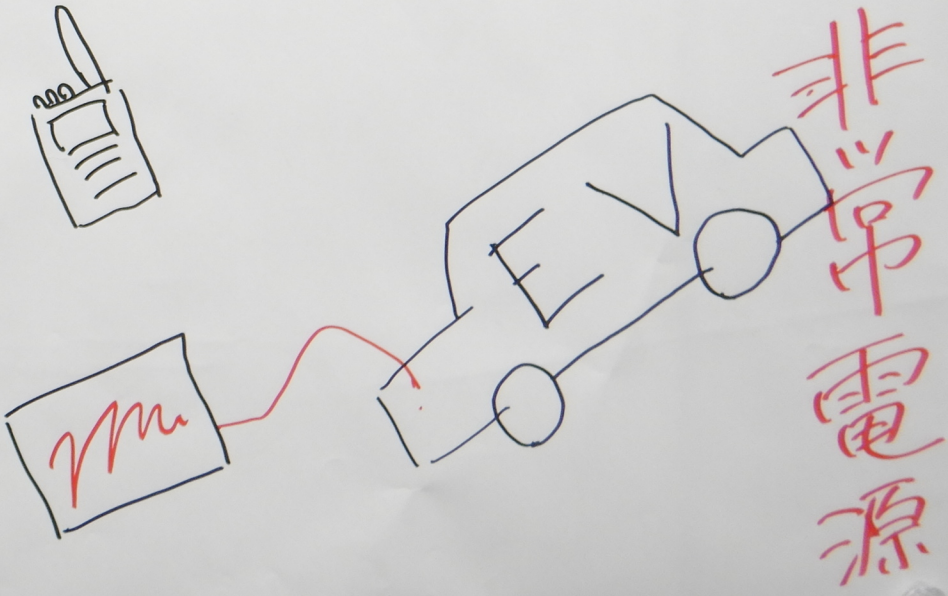
班番号	9
進行役	
書記係	
発表者	



〔伝達手段〕
- 衛星電話、無線機
- デジタルサイネージ
- 園内放送設備

〔伝達体制〕





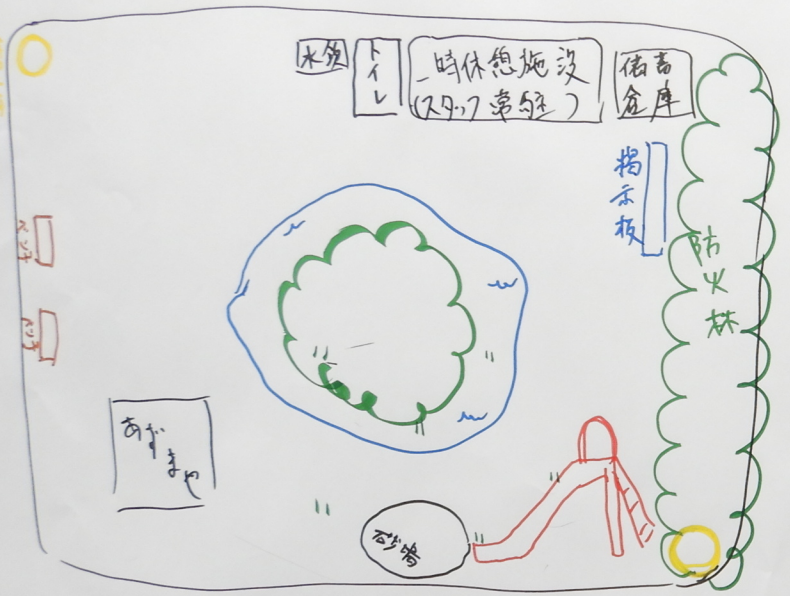
更新実践講習　グループディスカッション　提案書

タイトル

[近隣を巻き込む公園づくり]

2024年11月19日
班番号　10
進行役
書記係
発表者

〈想定する公園〉＞約1haの近隣公園



〈想定されるリスク等〉

- 水道が壊れる（断水）→ 井戸 水の備蓄
- 電気がこない → 発電機（太陽光パネル 街灯から電気を取る）
- 倒木
- 近隣住民が避難（帰宅困難者）→ 近隣防災ネットワーク・協力体制
  マップ（避難先を示す）
  テントにできるあずまや、ベンチを防災用に、
  災害用の無線で自治会と連絡 on 防災公園
- 近隣住宅からの火事 ↓ 防火林

- 備蓄品を揃え、→ 簡易トイレ、毛布等
  ・食糧（ビスコ）
  ※近隣商店街と巻き込む日常のコミュニケーション →

近隣の方をまきこんだ

防災訓練をしよう

タイトル

更新実践講習　グループディスカッション　提案書

2024年 11月 19日
班番号 11
進行役
書記係
発表者

[もしも地震が起こったら…]

〈前提〉

運動公園 20ha

夏・昼間の発災

用意するもの

発電機・燃料

投光機

テント、簡易トイレ

電池ラジオ

無線

救急箱

食料・飲料

起こりうること

インフラ

上下水道

電気

ガス

ネットワーク障害

火災

公園利用者・近隣住民の避難

平時に取り組むべき対策

- マニュアルの整備
  - 図解
  - リング式
- ユニバーサルサイン・マップ
- スタッフの研修・消防訓練
- 地域住民との訓練
- 防災イベント・セルフプログラム（住民参加）
- 緊急連絡網
- だれが見ても分かる
  - ハザードMAP　ピクトグラムを使用
  - 避難ルート看板の設置

いつでも
だれでも
防災意識が
身につく運動公園

更新実践講習　グループディスカッション　提案書

タイトル

[裏防災マップの作成]

2024 年 11 月 19 日	
班番号	12
進行役	
書記係	
発表者	

想定する公園

地方の昔からある防災公園

- 開設から 40～50年 経過
- アクセスの良い公園
- 周辺の人口状況などが変わっている

災害

自治体が作成している
防災計画で実際
どこまで運用できるのか

いろいろ調整が必要. 許可が必要…

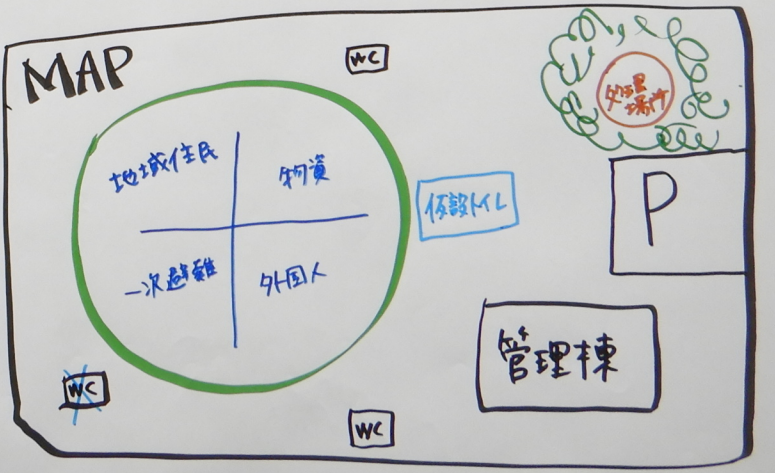
避難場所のエリア分け

周辺住民、一次避難、外国人 など… 情報の整理

→ 日常的に情報発信が必要.
→ 災害時用の誘導看板の作成

トイレ問題どうするか

トイレだけあっても 排泄物どうするの?
→ ユンボで掘って埋める場所を想定しておく.



更新実践講習　グループディスカッション　提案書

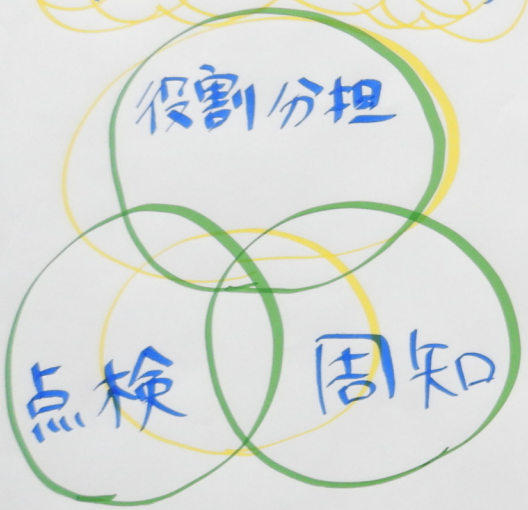
タイトル

[防災対策見える化アクション!!]

2024 年 11 月 19 日	
班番号	13
進行役	
書記係	
発表者	

※条件：想定する公園例②（ただし平地）

公園の役割



アクション①（点検）

通常イベント時に防災設備の展示、
（マンホールトイレ・かまどベンチ）

アクション②（役割分担）

自治体と関係各所との
共同訓練開催

アクション③（周知）

（防災）
地域住民向けイベントの開催と
情報発信

更新実践講習　グループディスカッション　提案書

2024年 11月 19日	
班番号	14班
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[大規模公園の発災時の課題]

想定する公園

大規模運動公園

- 郊外に位置し
  車利用者が多い
- 広域防災拠点
  ←ココがポイント

地震時の公園の状況

- 利用者が少ない
- スタッフは30人
- 車輌での避難者が多い
- 駐車場が混雑
- 周辺道路が混乱
- 緊急車輌に影響

平常時の取組み

- 広域合同防災訓練（年1回）
- 近隣住民との防災訓練
- 地域防災計画での
  公園の役割の確認
- 備蓄品の確認と運用方法
- 近隣住民への非常時の公園利用の
  仕方のアナウンス
- 指定管理者の防災訓練

更新実践講習　グループディスカッション　提案書

タイトル

[地域と連携した災害対策]

2024 年 11 月 19 日	
班番号	15
進行役	
書記係	
発表者	

公園の設定 ・臨海部の都市公園 ・海抜約10m ・面積 30ha

施設 ・津波避難タワー、小高い丘 ・運動施設、体育館、芝生広場 ・観覧車

人員配置

日中…当日勤務者
夜間…参集者
→翌日以降

- 対応者の交代体制
- 避難誘導
- 設備の使用

設備

- 発電 蓄電
- 衛生環境を維持できるトイレ

地域との連携

物資

- 食料・水
- 防災用品

訓練

- 日頃の防災訓練
- 防災イベントの実施

マニュアル

誰でもわかる！
どこでもわかる！

鍵